
アルトネリコ ～終焉の地に響く少年の詩～

天狐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アルトネリコ 〈終焉の地に響く少年の詩〉

【Nコード】

N7166L

【作者名】

天狐

【あらすじ】

謎の少年がライナー、クロア、アオトの主人公や仲間たちと共に物語に加わり行動をする。

一応、本編再構成ものです。

アルトネ小説生産計画に参加したくなりやってしまった・・・

2010/5/30現在までに得ることの出来た情報を元に作っていくので矛盾が出るかもしれませんが、頑張っていけます

零（前書き）

やっちまった感が溢れまくる小説ですんで、原作のイメージが壊れるかもしれない。そう思ったら見ないほうがいいと思います。それでもみてやる！と思う方は是非誤字脱字等訂正したほうが良いと思うところや、感想を送ってください

「どうしても、その行為を止めないのか」

「我らの悲願達成に必要な犠牲と考えれば、安いものではないか」

「その考え方が気に食わないんだって。たしかに犠牲としちゃ減るかも知れねえし、俺たちの目的は総意に近いかもしれない。でも俺たちが被害を出すのは場違いじゃないか？」

「それでは諦めるというのか？」

「荷物を見てそう思ったんだろうけど、ちげえよ。すこしシュレ・
・エオリアの塔に行つて来る。
以前遣り残した事を思い出した」

「そうか・・・ならば出来るだけ早く戻ってくるのだな。そうだな
ければ」

「おう。俺にとつちゃあこれは生きてる意味そのものなんだからよ」

「「全ては緑萌ゆる大地の復活のために」」

「それじゃあ行つて来る。早くても1年は戻つてこれねえ。まあ戻つてきたら目的済ませてさっさと帰ろうぜ。あんたの娘にも会つてみたいしな」

「・・・・・・・・」

「親子の絆ってのは、簡単に切れるものじゃないと思っぜ？
早く帰って、謝れるといいな」

少年は歩みだす

生きてきた時間の中で、最後になるかもしれない人生ときを懸命にすこ
す為に

いつの日か夢に見た、全ての存在が笑って暮らせる世を紡ぐために

● (後書き)

やっつけていけるのか「コ」?

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7166/>

アルトネリコ ~ 終焉の地に響く少年の詩 ~

2010年10月13日21時34分発行